

内部障害のある人の生活支援と 作業療法の実践

特集にあたって

超高齢社会を迎え、内部障害の有病者は増加の一途をたどっており、今後もさらなる増加が予測される。その内部障害は主診断に加え、複数の障害を有する重複障害としても多くの患者が存在し、OTがかかわる機会が多い。そのため、OTは作業療法介入を行う前提として、循環・腎・呼吸・代謝疾患の病態生理と障害への理解が必要となり、日々自己研鑽しながらエビデンスに基づいた作業療法介入を行っている状況にある。その一方で、内部障害者へのOTの役割やその具体的な作業療法の介入方法については、明確に示している文献は少なく、多くのOTは、他のOTがどのような視点や方法で介入を行っているのか、興味・関心が高いこととうかがえる。

本特集では内部障害者への作業療法介入において第一線で活躍され、実践経験豊富なOTの方々にご執筆をいただいた。本号では内部障害者への作業療法の役割や内部障害特有の介入ポイントを、具体的かつわかりやすく解説していただいている。この特集が個々のOTにおいて内部障害者への作業療法介入を行うための、一つの指針となることを願っている。

(田代 大祐)

企画担当

田代 大祐 (神戸学院大学, 作業療法士)

江藤 文夫 (国立障害者リハビリテーションセンター, 元総長・医師)

中村 春基 (千里リハビリテーション病院, 副院長・作業療法士)